

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	指導事務管理事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		01	10	01	02	03
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課	指導課			
				主管課長	西村 淳			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	指導課事業	意図	効率的な指導課事務管理
事業内容	臨時職員賃金の支払い 各種消耗品の購入管理			
事業開始から現在までの状況変化	適正な事務管理が進められており、各学校との連絡調整が図られ、スムーズな執行に繋がっている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
指標で表すことができない定性的な成果	臨時職員による適正な事務管理により、事務手続きが円滑に進められている。そのため指導主事は仕事に専念しやすくなっており、教育効果に繋がっている。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 臨時職員の対応により、円滑な任務の遂行が図られている。また、各学校との連絡調整を確実にし、事務処理等滞ることなく各学校の教育活動が計画的に実施されている。		
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		2,660,289	2,639,399	2,641,278			
事業費(b)(円)		1,541,289	1,520,399	1,487,278			
うち一般財源		1,541,289	1,520,399	1,487,278			
職員給与費(c)(円)		1,119,000	1,119,000	1,154,000			
人役・職員(人)							
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)		1.00	1.00	1.00			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	A 削減の余地はない	
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	会計事務処理を効率的かつ適切に実施する。	③取組における課題(Check)	各学校からの事務処理量の増加により、よりスムーズな事務処理が求められる。
②H30に実施した取組(Do)	効率的な事務運営を再考した。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	事業内容の精選を図ることと同時に、事務職員の複数体制についても検討の必要がある。